

令和5年度第4回南外地域協議会会議録

令和5年12月1日

南外地域協議会

令和5年度第4回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■協議	2
1) 令和5年度地域枠予算事業に関する報告について	3
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」について	6
■閉会	10
■署名	10

令和5年度 第4回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和5年12月1日（金） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 12名

伊藤 伝悦、伊藤 正人、加賀 正夫、加賀屋 由香、
風口 宏子、今野 徹、佐渡 敏夫、佐藤 喜八郎、
佐藤 正行、進藤 覚、相馬 静華、高寺 衛

■欠席委員： 2名

伊藤 悠、伊藤 真紀子

■出席職員： 4名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長） 堀井 みわ子（市民サービス課長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）菊地 明憲（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ①令和5年度地域枠予算事業に関する報告について
 - ②南外地域「彩色千輪プロジェクト」について
- 4 その他
- 5 閉 会
- 6 署 名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆さま、本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。
ただいまから「令和5年度第4回南外地域協議会」を開会いたします。
開会にあたり、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんお晩でございます。本日はお忙しいところ第4回南外地域協議会にご参会いただきまして、誠にありがとうございます。夏の開催とは雰囲気違って、日も短くて4時を過ぎると暗くなるような昨今で、12月22日の冬至まで日がだんだん短くなってくると思いますけれども、いずれ先週から雪も降ってあつという間に降雪で積もりまして、11月に何年ぶりの記録だという話しも聞こえてきております。これから寒い季節になりますけれども、皆さんご自愛のうえ、健康にご留意していただければと思っております。さて、この地域協議会は、第3回が9月の下旬に行われましたけれども、その後大仙市ではいろいろな秋の行事が行われておりました。皆さん参加していただけたと思いますけれども、10月7日は大仙アカデミーということで、地域協議会の委員の研修会にも充てられておりました。私も参加してまいりましたが、良いお話を伺うことが出来ました。

それから10月下旬には、榎岡城址の見学会や講演会などがあって、いろいろな秋祭りの開催も行われておりました。大変盛況に行われたようです。様々な行事にもご参加いただいて、南外地域を少しでも活性化させていければと思っております。委員の皆さんもぜひ、いろいろな行事に参加されて地元南外を元気にしていってもらえればと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

今日の協議会は、終了後懇親会も予定されておりますので、どうかひとつよろしく願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきます。

本日の出席予定委員数は12名で、現時点で9名の方が出席されています。既に過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。また、会議録作成のため録音させていただきます。あらかじめお断り申し上げます。

なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、協議会を始めます。

議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。

伊藤伝悦 委員と進藤覚 委員にお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。議題①「令和5年度地域枠予算事業に関する報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○菊地地域活性化推進室主査（以下「地域活性化推進室主査」と表記）

【資料説明】

◇令和5年度地域枠予算事業に関する報告について（地域枠予算事業説明書 参照）

■ふるさと南外の会応援事業（市民主導型）

①ふるさと南外の会会員の新規登録・イベント参加推進事業

時期：10月中旬から11月25日（土）

概要：各年度の還暦実行委員会の委員長及び事務局長の協力により、首都圏に住所を有する同級生に対して、ふるさと南外の会会員登録の案内を行う。ふるさと南外の会総会に参加する実行委員に対して、旅費を一部助成。

②ふるさと南外の会総会及び懇親会

時期：11月25日（土）アルカディア市ヶ谷私学会館

概要：南外地域の特産品PR事業として、南外さいかい市となんがい自然酒の会による地元野菜や地酒等の試食・試飲を実施するほか、地元企業による南外地域先進農業事業の紹介などを実施。

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

○佐藤喜八郎委員

ふるさと南外の会に私も行ってまいりました。急に連絡があつて、内容がよく分からないまま参加してしまいましたが、ふるさと南外の会はどういう活動をしているのでしょうか。メンバーですとか。分からないまま参加してしまったので教えていただければと思います。

それから、還暦実行委員会に旅費を補助するとなっておりますけれども、私は還暦ではなかったのですが対象にならないでしょうか。

それから、事業説明書でも様々な形で応援するというようになっておりますが、その大きな目的はふるさと納税を増やす、あるいは地元の特産品の購入拡大というようなことが書かれておりますけれど、ふるさと納税はどのくらいしているのでしょうか。分かれば教えてください。事業費の詳細も分かれば教えていただきたいのですが。

○会長

ただいまの質問に対して、事務局から説明をお願いします。

○地域活性化推進室主査

初めに質問いただいた会の構成員についてですが、ふるさと南外の会の構成員ということではよろしいでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

ふるさと会と応援する会と2つあるような感じがするのですが、補助金の話しで出てきているのは応援する会でしょうか。

○地域活性化推進室主査

そうです。地域ごとにふるさと会という会が昔から活動しているわけですが、ふるさと会については、市からこれとは別に補助金を交付しています。

それとは別に各地域にふるさと会を応援する別組織として、応援する会があります。

ふるさと会に関しては、実際に関東など首都圏に住まわれている方で構成されている団体で、応援する会については、南外地域在住の市役所OBなどで構成された団体になります。

応援する会としては、地域枠予算を使って地元の特産品PRですとか、ふるさと会も年々高齢化で会員数も減少してきておりますので、交流を通じて会員を増やすような活動と一緒に、ふるさと会の活動を応援していくということを目的に活動しています。

○久米啓之支所長（以下「支所長」と表記）

今回初めて、私も皆さんと南外の会に出席させていただきましたけれども、案内については、ふるさと南外の会でそれぞれ関係者へ通知しておりますが、佐藤委員への案内はそちらからの要請があったのではないのでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

私は応援する会の佐々木会長からお話しをいただきました。

○佐渡敏夫委員

私はかなり前から参加させていただいて、立場は皆さんと違いますけれども、先程事務局の説明にあったとおり、首都圏にあるふるさとの会というのは、南外出身で首都圏に在住されている方々の会です。こちらは、あちらの会員の方々に独自に会を運営しています。

年々その会員も高齢化で、一時は42歳の厄年の次の年代を対象に10万円を補助して誘い合ってもらって会員になってもらおうとしたこともありましたが、あちらの役員は古希の70代の方々に、世代が離れていることもあってなかなかうまくいかなかったようです。そこで、一回その試みを辞めて、今ある応援する会という還暦の世代とその前後の世代を対象にして、還暦の時には同級会が行われるはずですので、その実行委員の方々にお願いして協力してもらおう形で応援する会が発足したはずです。

そこで、実行委員の方々は同級生の名簿を把握しているはずですので、向こうにいる方

と地元にいる方に声を掛けてもらって参加者を増やしていこうという取り組みをして、交流していこうという両方の会だというのが私の認識です。

○佐藤喜八郎委員

将来的には、ふるさと納税を増やす、あるいは地元の特産品を購入拡大するという最終的な目標があるわけです。その効果とといいますか、そういったものはどうなっているのか教えていただければと思います。

○支所長

ふるさと納税の額については、今こちらで資料がありませんので次回の協議会の際にお示ししたいと思います。

この前のふるさと南外の会の際に、佐藤委員もご存知と思いますけれども、お酒やお米の販売も行われておりましたが、その中でふるさと納税のチラシもお配りしておりますので、特産品の購入から地域の活性化につながるように取り組んでおりますが、実際に参加されている方は、企業に勤められていてトップに起たれているような方もおりますし、誘致企業ですとかそういったところと繋がりを作る機会としてもこのような会があると思いますので、ご理解していただければと思います。

○佐藤喜八郎委員

役員の方が高齢化してきておりますので、30代、40代の若い人たちに役員に入ってもらえば、若い人たちも参加してくれるのではないかと思います。

○支所長

今回のふるさと南外の会に40代の2名の方が参加されておまして、後から聞いた話しですが、会の事務局を担ってくれるような話しをしていたようですので、今後その若い人たちの繋がりなども期待できるのではないかと考えております。また、情報発信につきましても、ふるさと会で会報を発行しておりますが、小川副会長からも、もう少し南外の情報を定期的に提供してもらえればという話しもありましたので、桜まつりですとか、さなぶり酒花火など秋田民報などに掲載されるなど情報発信に努めているところですが、それを会員の皆様にも周知するなど、定期的に情報提供していきたいと考えております。

○会長

ほかにご質問等ありますでしょうか。なければ続きまして議題②の「南外地域『彩色千輪プロジェクト』」について事務局より説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明】

◇南外地域「彩色千輪プロジェクト」について

（「南外地域彩色千輪プロジェクト」

令和5年度実績及び令和6年度具体的な取り組み 参照）

■事業実績（令和5年度）

○地域活性化の方向性：自立してコンパクトな南外

ハード事業 I. 施設案内看板のリニューアル（実施済）

ソフト事業 I. 拠点3施設合同事業の実施（実施済）

11/23「みんなのきよてんまつり」開催事業（来場者 約300名）

○地域活性化の方向性：子どもからお年寄りまで元気で安心な南外

ハード事業 I. Wi-Fi環境の整備（実施済）

ソフト事業 I. SNSの利活用（実施済）

II. 管内保育・教育機関との連携強化（実施済）

南外中学校「地域とつながる！」プロジェクト事業

10/29 南外地域祭でのさいかい市商品販売実践（1年生）

11/17 堀井徳五郎翁の遺した「長福山（ちょうふくざん）のやま
んば」の紙芝居上映会（2年生）

III. 世代間交流サロン（年度内実施予定）

○地域活性化の方向性：自然豊かで人が集まる南外

ハード事業 I. 拠点3施設共有駐車場の改善（実施済）

ソフト事業 I. 自主上映会運営の支援（未定）

II. 地域枠予算の活用促進による「集いの機会」の拡充（実施済）

III. SDGs実現に向けたひとづくり・まちづくりの推進（実施済）

11/23「みんなのフリーマーケット in ナンガイ」開催事業

※「みんなのきよてんまつり」と合同開催

■具体的に取り組み（令和6年度）

○地域活性化の方向性：自立してコンパクトな南外

〈彩色千輪プロジェクト事業〉

I. 拠点3施設合同事業の実施（予算要求額：632,000円）

各施設の特徴を生かした催事等の企画・実施

・「みんなのきよてんまつり」の開催、南外ふるさと館食堂の新メニュー考案等

・南外民俗資料交流館施設案内DVDの作成及びモニターの購入

II. 堀井徳五郎翁顕彰事業（予算要求額：689,000円）

旧南外村出身の昔ばなしの語り部、堀井徳五郎氏の功績を、拠点施設を活用し

て地域に浸透させていく事業を実施

- ・堀井徳五郎翁PR冊子・リーフレット作成
- ・昔語りイベント開催経費・他市との交流
- ・資料等展示用資材の購入
- ・サロン用座椅子の購入

○地域活性化の方向性：子どもからお年寄りまで元気で安心な南外
〈地域枠予算〉

I. 管内保育・教育機関との連携強化（予算要求額：271,000円）

地元小・中学生が企画・交換した事業の実施

- ・南外さいかい市商品販売実践等
- ・わらび座とのコラボ劇の上映
- ・昔ばなしイラストコンクール

II. 地域の居場所づくり事業（予算要求額：100,000円）

幅広い年齢層の地域住民が共通の趣味や話題などでつながりあえる場を提供

- ・南外さいかい市健康サロン
- ・世代間交流サロン

○地域活性化の方向性：自然豊かで人が集まる南外
〈地域枠予算〉

I. 地域枠予算の活用促進による「集いの機会」の拡充（予算要求額：600,000円）

拠点3施設を利活用した市民主導型地域枠予算事業の新規事業の企画・実施を支援

- ・ミニ上映会開催事業
- ・「クリスマスパーティin南外」開催事業
- ・野外音楽祭開催支援

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。

○伊藤伝悦委員

以前に開催された協議会の中では、たしか徳五郎さんの遺した昔ばなしは「ちょうふくざん」ではなくて、『ちょうふくやま』の山姥」という言い方をされていたと思いますが、みんなのきよてんまつりのチラシを見ると「ちょうふくざん」という書き方がされていますが、このことについて教えてください。

○地域活性化推進室主幹

この言い方の違いについては、中学校での学習の中でも「ちょうふくやま」という言い方をしていました。今回、「ちょうふくざん」という言い方に換えた理由としては、元々堀井徳五郎さんの現存している音源データの中では、徳五郎さん本人が「ちょうふくざん」という言い方をされています。中学校で学習していく中で、最後の学習の際にこの音源データをもとに読み方を統一することにし、発表会の際も「ちょうふくざん」という言い方に統一しました。言い方に関しては、語り部さんによっては「ちょうふくやま」という話しかたをされる方もいらっしゃると思います。

みんなのきよてんまつりのチラシについても、中学校との授業の延長線上という考えで、「ちょうふくざん」という表記にさせていただきました。

○会長

ほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

中学生の紙芝居と方言での発表会に参加しました。すごく良く出来たものだなと感心しました。この発表したものを未完成かもしれませんが、映像化したり中学生が書いた紙芝居用のイラストを実際に紙芝居に出来ないもののでしょうか。実際に紙芝居があれば、中学生だけでなくてもいろいろなところに持って行って、活用出来るのではないのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

動画に関しましては、既に出来上がっているものが一つあります。中学生が書いたイラストデータと徳五郎さんの音声データを組み合わせたもので、こちらはすぐに使える状態です。

このイラストデータに中学生の語りを載せるということに関しては、この間の発表会の際に録音しているものがありますが、当日は欠席した生徒もいたため、欠席した生徒に関しては、後で収録できるように中学校側をお願いしています。生徒全員分の収録が終わりましたら、動画を作成し、昔語りイベントなどの中で利活用していきたいと考えています。

○支所長

イベントでの利活用以外にも、来年度予算に映像モニターの購入費用を予算要求しております。実際に予算が確保できた際には、民俗資料交流館に設置して完成した動画を放映したいと考えておりますので、もう少しお待ちいただければと思います。

○地域活性化推進室主幹

実際に紙芝居として使える状態にすることに関しては、すでにイラストをデータ化しておりますので、そのデータを使って作成出来ればと考えています。

○会長

ほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。

○加賀屋由香委員

広報では徳五郎さんに関する事業などを目にすることもありますが、なかなか資料館に足を運ぶまでにはなっていないのではないかと感じています。SNSを利用することが出来るのであれば、そういったものを利用して、徳五郎さんの人物紹介なども宣伝していければ、身近に感じる人も増えて資料館にも足を運ぶ人も増えるのではないかと思います。

○地域活性化推進室主幹

SNSに関しては、X（旧 Twitter）を支所では利用していますが、資料館に直接足を運んでもらうような情報発信が少ないというのが現状です。今後は、そういったものを上手く使いながら、若い人にも情報を周知できるようにしていきたいと考えています。

また、資料館に展示しているものと若干内容を変えたものを支所でも展示しておりますので、ご来庁された際にご覧いただければと思います。

地域おこし協力隊の方でも、Facebook と Instagram で南外地域の話題ということで、先日の紙芝居発表会や健康サロンの様子が情報発信されておりますのでご覧いただければと思います。

○会長

ほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。

○加賀正夫委員

拠点3施設の案内看板が国道105号線沿いに設置されましたが、その地点を過ぎると案内表示が無く通り過ぎていく人もいるので、湯ノ又児童館横の十字路付近に小さいもので良いので案内看板を設置してもらえないでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

看板設置については、設置できるような箇所があるか場所の確認も必要になるので少しお時間をいただければと思います。

○会長

ありがとうございます。そのほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。

【意見なし】

無いようですので、その他に入ります。はじめに、事務局から前回の協議会の中で寄せられた質問に対する説明があるとのこと。事務局の説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明】※その他案件のため、概要等の一部を抜粋して説明。

◇南外地域自治区振興計画について（南外地域自治区振興計画 参照）

○会長

そのほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。無いようですので、本日の協議会はこので終わりたいと思います。次回の会合は、後日事務局を通じてお知らせします。

これをもちまして、令和5年度第4回南外地域協議会を閉会します。

（19時00分 閉会）

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 伝悦

進藤 覚
